

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】令和 3 年 9 月 16 日 (2021.9.16)

【公開番号】特開 2020-145822 (P2020-145822A)
 【公開日】令和 2 年 9 月 10 日 (2020.9.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-037
 【出願番号】特願 2019-39788 (P2019-39788)
 【国際特許分類】

H 0 2 G 11/00 (2006.01)

B 6 0 R 16/02 (2006.01)

H 0 2 G 3/04 (2006.01)

【F I】

H 0 2 G 11/00

B 6 0 R 16/02 6 2 0 A

H 0 2 G 3/04 0 8 7

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 4 日 (2021.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

(4) 前記電線は、前記ベース部材に沿って複数本並んで固定されており、前記余地部は、前記電線が固定された部分の両側にそれぞれ形成されており、前記プロテクタは、それぞれの前記余地部を挟持する一对の挟持部を 2 組有しており、2 組の前記一对の挟持部は、一对の連結部によって連結されており、前記一对の連結部は、ヒンジによってさらに連結されていてもよい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 5】

したがって、プロテクタ 6 0 がワイヤハーネス 3 0 に組み付けられ、一对の連結部 4 2 がワイヤハーネス 3 0 の左右方向両側に配置されると、図 5 に示すように、一对の連結部 4 2 における複数の第 2 突出部 5 4 が、余地部 3 6 を左右方向両側から前後方向に互い違いに押圧し、余地部 3 6 が一对の挟持部 5 0 間を左右方向に蛇行するように配置される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 5】

また、ワイヤハーネス 3 0 を引っ張るような荷重がワイヤハーネス 3 0 に加わった場合には、荷重はワイヤハーネス 3 0 の余地部 3 6 と保持部材 4 0 とプロテクタ 6 0 の前壁 7 4 および後壁 7 5 とに加わることになる。つまり、電線 3 2 に対して荷重がかかることを抑制し、電線 3 2 が損傷することを抑制できる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0069

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0069】

電線 32 は、ベース部材 34 に沿って 5 本（複数本）並んで固定されており、余地部 36 は、電線 32 が固定された電線固定部 35 の両側にそれぞれ形成されており、プロテクタ 60 は、図 10 に示すように、それぞれの余地部 36 を挟持する一对の挟持部 50 を 2 組有しており、2 組の一对の挟持部 50 は、一对の連結部 42 によって連結されており、一对の連結部 42 は、ヒンジ 43 によってさらに連結されている。

【手続補正 5】

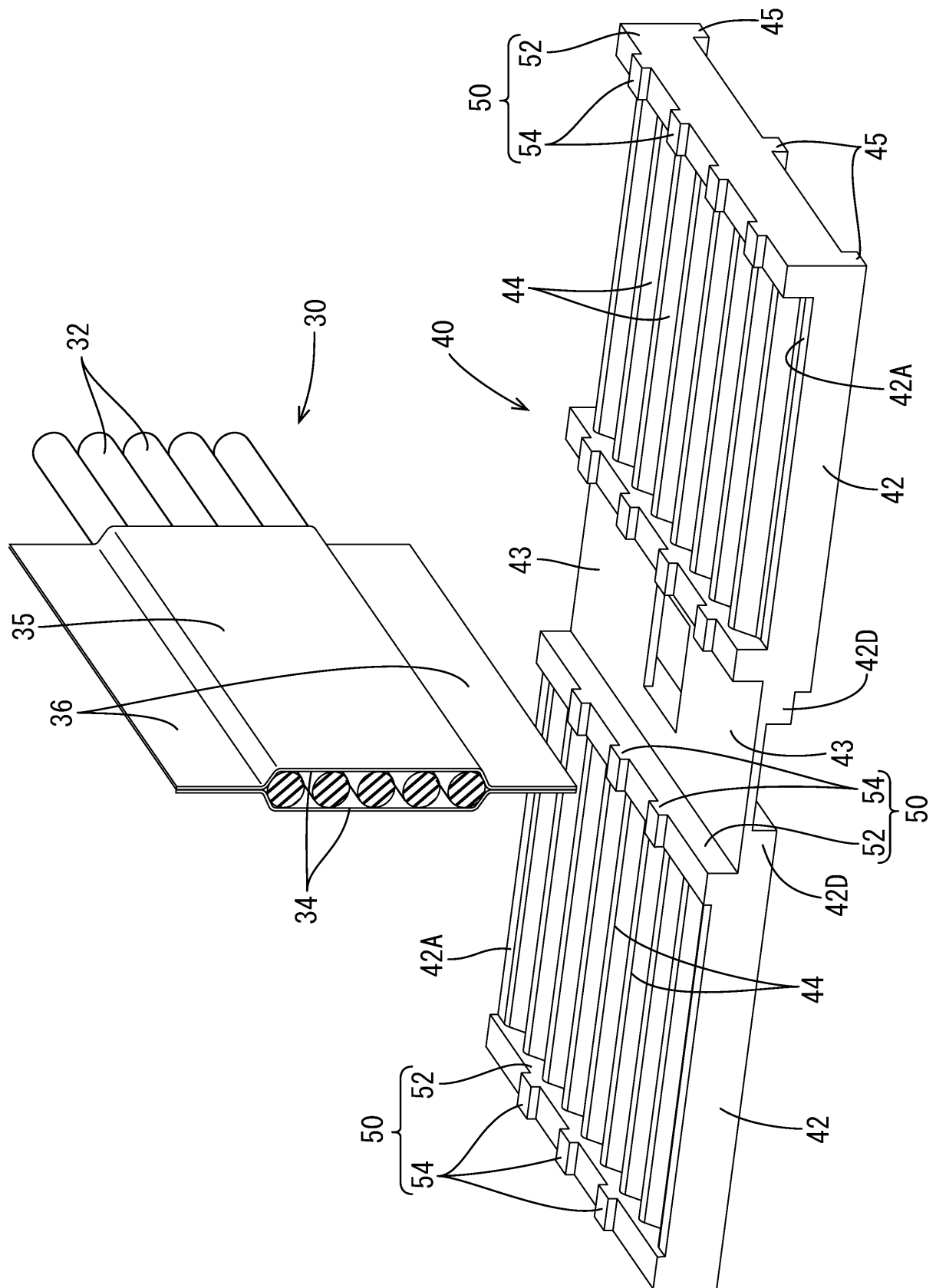
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 7 】



【 手続補正 6 】

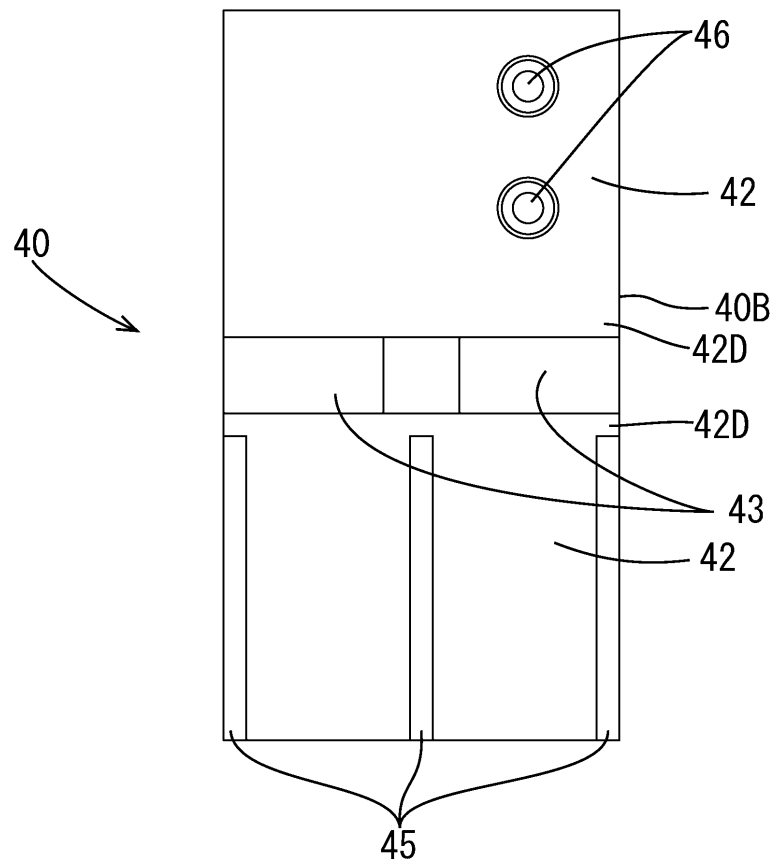
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 8】



【手続補正 7】

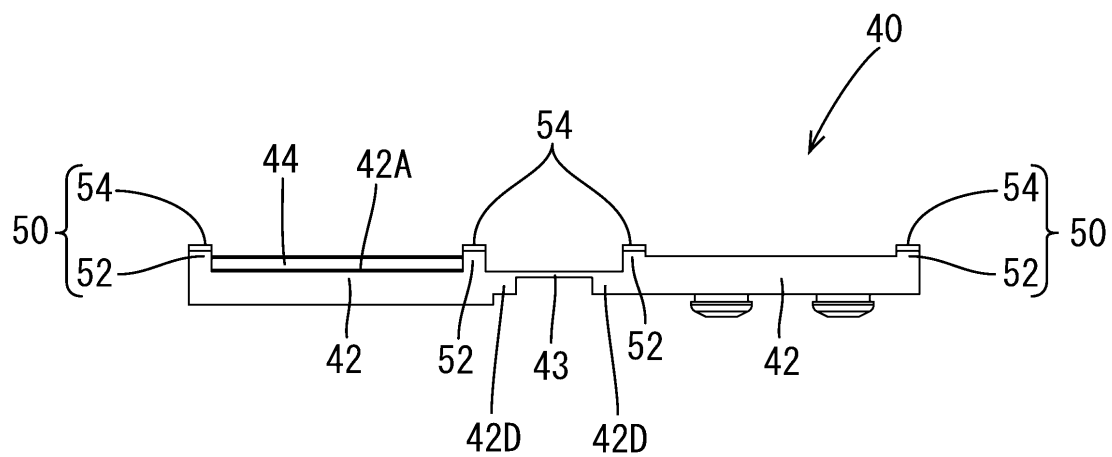
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 9】



【手続補正 8】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1 0】

